

2013年7月3日

各位

味の素製薬株式会社

分岐鎖アミノ酸製剤「リーバクト®配合経口ゼリー」を新発売

味の素製薬株式会社(社長:長町 隆、本社:東京都中央区、以下、味の素製薬株)は、分岐鎖アミノ酸^{*1}製剤「リーバクト®配合顆粒」^{*2}(日本薬局方:イソロイシン・ロイシン・バリン顆粒)の新しい剤形として、本年6月21日に薬価基準収載された、「リーバクト®配合経口ゼリー」の販売を本日より開始いたしましたのでお知らせいたします。

「リーバクト®配合顆粒」は食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症^{*3}を呈する非代償性肝硬変^{*4}患者さんの低アルブミン血症の改善を効能・効果に持つ医療用医薬品です。従来の分岐鎖アミノ酸製剤は顆粒剤であり、1回の服用量が多い、顆粒のざらつきが気になるなど、患者さんの受容性に課題がありました。

味の素製薬株では患者さんの服薬アドヒアランス^{*5}向上に貢献するために、顆粒剤である「リーバクト®配合顆粒」について服用感を改善するための製剤工夫を行ってまいりました。本日販売を開始した「リーバクト®配合経口ゼリー」は分岐鎖アミノ酸製剤として初の経口ゼリー剤であり、顆粒剤の服用が苦手な患者さんの新たな選択肢として、服薬アドヒアランスのさらなる向上が期待できると考えております。

味の素製薬株はこれからも、患者さん、医療関係者の方々の思いに応える「ひとを見つめる創薬」を実現することで、患者さん一人ひとりの健康とよりよい生活に貢献してまいります。

以上

*1 分岐鎖アミノ酸 : 生体を構成するアミノ酸のうちイソロイシン、ロイシン、バリンの総称。

*2 現在、日本及び韓国で承認・販売されています。

(韓国では、当社からの技術供与によりサムイル・ファーマシューティカル社(販売)から「LIVACT® Granules」の製品名で販売されています。)

*3 低アルブミン血症 : 肝硬変の進行に伴い、血中のアルブミンが低下しますが、この状態を低アルブミン血症といいます。低アルブミン血症になると、全身の栄養状態が悪化するとともに、腹水などの症状の原因となります。

*4 非代償性肝硬変 : 肝硬変は肝臓に線維が多くなり、肝臓が硬くなって正常な機能を果たせなくなる状態です。黄疸、腹水、脳症などの症状を伴わない時期を代償性、伴うようになると非代償性といいます。

*5 服薬アドヒアランス : 患者さんが積極的に服薬方針の決定に参加し、その決定に従って服薬を実施・継続すること。

【本件の問い合わせ先】

味の素製薬株式会社 経営企画部

TEL:03-6280-9802

FAX:03-6280-9912